

「やる気のない」児童の漢字学習を促進する方法の検討

- 漢字テストと日記への
目標設定・フィードバックの効果 -

小野寺 謙 野呂 文行
(神崎町立神崎小学校) (筑波大学)

特教2005 ポスター発表

「やる気がない」と思う、思われるのはなぜ??

- ・何をやってよいのかわからない
- ・やることはわかっているけど、大変そう

やらない or 人に言われたらやる

- ・ やっても何も変わらない (ほめられもしない)
- ・ むしろ怒られる (やればできるんだから、早くやりなさい!!)

「やる気がある」と思う、思われるためには

目標設定

- ・何をやったらよいのかわかる
- ・大変そうな課題は小さく、基準を下げる

進んで (人に言われる前に) 「やる」

- ・ やったら、とりあえずほめる
- ・ 次の目標を提示する (できたとき / できなかったとき)

フィードバック

Miller & Kelley (1994) JABA, 27, 73-84.

方 法

1. 対象児 : 小学6年生男児 (A児 / B児)
 - ・ 漢字は「苦手」、拗音・カタカナも不正確。
 - ・ B児は4年生まで知的障害特殊学級在籍。

2. 従属変数

漢字10問テストの点数 (漢字は前日に指定)

日記に使用した漢字の数

(その日の出来事や思ったことを書く)

3. 手続き

1) ベースライン

漢字テスト ; 90点以上合格。

合格者が少ないときには全員再テスト。

日記 ; 朝提出。担任からコメントを書き

加えられ、その日のうちに返却。

2) テスト介入 < 個別再テスト + 合格点 >

不合格者のみ再テスト (合格者は次のテストを受ける)

合格点 50点 (A児)、40点 (B児)

3) 日記介入 < 漢字目標数設定 + フィードバック >

漢字の目標数設定

A児 ; 3個 相談の上で徐々に増やした。

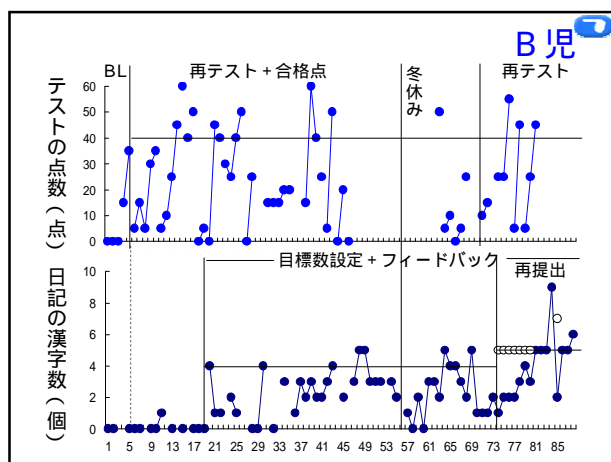
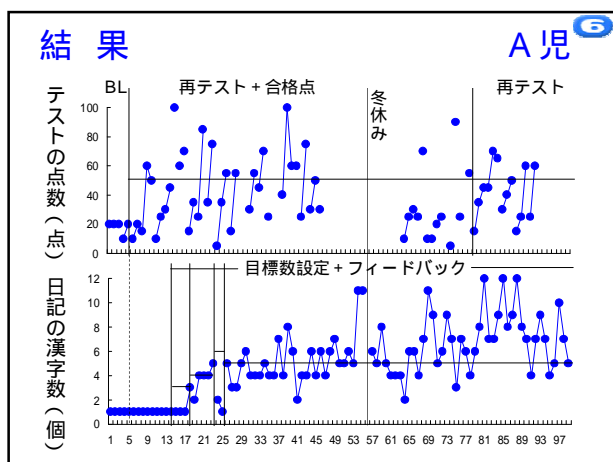
B児 ; 4個

フィードバック

コメントとともに、テストの点数のように使用した漢字の数を表記。

4) 日記介入 < 再提出 > (B児のみ)

目標数の漢字を達成できなかった場合、その日のうちにひらがなを漢字に直して再提出。



考察

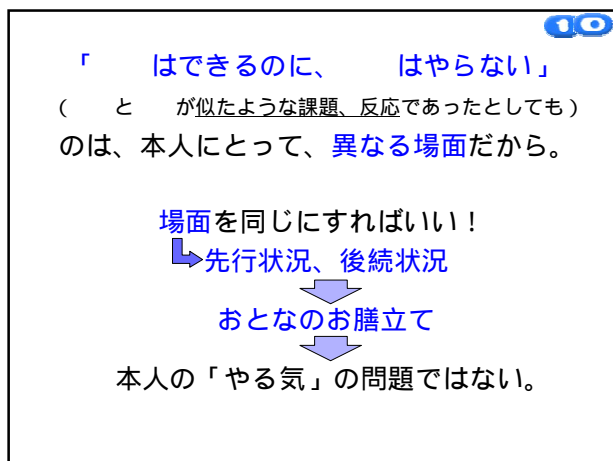
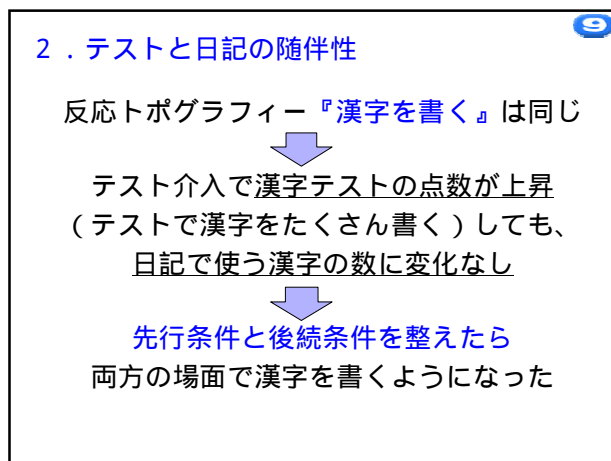
1. 目標設定・フィードバックの効果

漢字テスト	日記
合格点数 本人のできそうな範囲	使う漢字の数 本人のできそうな範囲
獲得点数	使った漢字の数
再テスト	再提出

目標設定
フィードバック

基準を達成できなかったら。。。 再提出

B児には必要だった手続き



- ### 通常学級担任としてのこれまでの実践
- ・ 小学4年生が落ち着いて授業を始めたいようになるための工夫 - 折れ線グラフによるフィードバックの効果 -
(行動分析学会2004 ポスター発表)
 - ・ 「やる気のない」児童の家庭学習を促進する方法の検討 - 学校でも家庭でも「かまってるあげる」ことを通して -
(特殊教育学会2004 口頭発表)
 - ・ 「人を思いやる」って何? - 道徳と心の理論 -
(第6学年 道徳学習指導案)
- kendeux@human.tsukuba.ac.jp